

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」令和2年度(4月1日～7月26日まで)

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
25	新江東	2号炉	休炉	R2.7.26	0:44	R2.7.26	3:01					0時44分頃、2号炉No.1ボイラダストコンベヤLのトルクリミッタ作動警報が発報・復旧を繰り返していた。2時20分頃、可能な措置を試みたが、復旧困難になったため、焼却炉を立ち下げた。なお、このまま定期補修工事に入る。
24	江戸川	2号炉	休炉	R2.7.23	8:00	R2.7.24	9:54					長物の不燃物が主灰シュートの途中で引っかかった影響で主灰シュートホッパ部に灰の堆積が確認された。主灰シュートが閉塞し始めたため焼却炉を停止した。
23	足立	1号炉	休炉	R2.7.14	10:00	R2.7.20	16:30	R2.7.24	15:54	R2.7.25	9:11	1号炉No.1自工場主灰コンベヤの月例点検の際、コンベヤ駆動側軸受ユニットのカバーが外れていることを確認した。調査の結果、軸受が損傷しており、長期間の運転継続は困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
22	新江東	2号炉	休炉	R2.7.7	2:00	R2.7.12	17:00	R2.7.23	17:00	R2.7.24	19:02	7日午前2時頃、2号炉No.1ボイラダストコンベヤLのトルクリミッタが発生し、一時的に回復した。12日午前1時頃、再度トルクリミッタが多発し、復旧困難になった。調査のため、焼却炉を立ち下げた。
21	多摩川	2号炉	休炉	R2.7.8	5:40	R2.7.8	5:40	R2.7.8	7:08	R2.7.8	8:27	後燃焼用ファンの故障が発生し、2号炉が非常停止した。後燃焼用ファン制御盤にて地絡保護動作警報が発報していたので、リセットした。制御盤二次側にて絶縁抵抗の測定、後燃焼用ファンの試運転の結果、異常がなかったため、焼却炉を立ち上げた。
20	杉並	2号炉	休炉	R2.6.18	14:00	R2.7.7	15:00	R2.7.9	15:12	R2.7.10	14:17	1号炉No.2灰コンベヤチェーンの破断対応時に、2号炉No.2灰コンベヤの確認を行った。その際、チェーンピンが一部破断していることを確認した。補修のため、2号炉を立ち下げた。
19	品川	2号炉	休炉	R2.6.29	7:30	R2.6.29	16:00					純水再生の周期に異常(再生回数増加)が生じ、ボイラ給水流量と蒸発量の差異も大きくなった。調査のため焼却炉を立ち下げた。なお、このまま定期補修工事に入る。停止から休炉
18	北	1号ごみクレーン	停止	R2.6.22	13:38					R2.6.23	17:30	クレーン手動操作中に乱巻きが発生した。乱巻き復旧作業中、ワイヤロープがバケットの爪に絡まった。解除後、ワイヤロープにキンクが確認されたため使用を停止した。
17	多摩川	B号ごみクレーン	停止	R2.6.22	10:33					R2.6.24	17:00	B号ごみクレーンバケット開閉回路の漏電遮断器が作動していた。当該回路の絶縁抵抗値を測定した結果、不良箇所があったため、B号ごみクレーンを停止した。
16	練馬	2号炉	休炉	R2.6.3	23:30	R2.6.20	10:00	R2.6.24	15:12	R2.6.25	12:19	ストーカ循環水配管からの漏水の疑いがあるため、調査及び補修のため焼却炉を立ち下げた。
15	杉並	1号炉	休炉	R2.6.11	10:34	R2.6.11	11:43	R2.6.19	15:10	R2.6.20	12:08	1号炉No.2灰コンベヤ過負荷が発報した。現場確認したところ、コンベヤチェーンが破断していた。早期復旧が困難であったため、焼却炉を立ち下げた。
14	墨田	2号ごみクレーン	停止	R2.6.8	16:00					R2.7.2	12:00	2号ごみクレーンの横行車輪が破損し走行が困難なため、2号ごみクレーンを格納し使用を停止した。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」令和2年度(4月1日～7月26日まで)

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				日	時	日	時	日	時	日	時	
13	新江東	2号炉	休炉	R2.6.6	23:00	R2.6.7	17:09	R2.6.19	16:05	R2.6.20	14:52	2号炉燃焼ストーカ側が前進端及び後進端まで到達しなく、可動範囲が狭くなった。そのため、燃焼ストーカ側に燃え残りが堆積し、ごみ送りが不能となったため、焼却炉を立ち下げた。
12	新江東	1号炉	休炉	R2.6.2	4:01	R2.6.2	17:03	R2.6.25	16:53	R2.6.26	15:20	「1号炉ろ過式集じん機ロータリーバルブNo.1異常」の警報が発報。調査の結果、上流側のNo.1ろ過式集じん機ダスト搬出コンベヤのスクレーパが複数破損していることがわかった。補修のため、焼却炉を立ち下げた。
11	多摩川	ごみクレーンA	停止	R2.5.11	16:45					R2.5.20	13:00	日常点検中にA号ごみクレーンのワイヤロープのクリップ部にたわみ、及びワイヤロープの素線切れを確認したため、A号ごみクレーンを停止した。
10	港	1号ごみクレーン	停止	R2.5.5	9:43					R2.5.8	16:00	給電ケーブルリールの間軸破損により、給電ケーブルが切断した。
9	豊島	2号炉	休炉	R2.4.30	10:30	R2.5.1	19:52			R2.5.8	12:00	不燃物堆積が原因と思われる炉床流動不良が発生し、燃焼管理に影響が生じていた。稼働中に可能な措置を試みたが復旧しなかったため、炉内に堆積した不燃物の状況確認及び解除作業を行う必要から焼却炉を停止した。(焼却炉立ち下げ後定期点検補修工事に入る。)
8	江戸川	2号炉	休炉	R2.4.22	6:13	R2.4.22	1:03	R2.5.11	17:33	R2.5.12	15:03	2号炉立下げ中にボイラドラム圧力が上昇傾向となった。タービンバイパスラインに蒸気を流す操作を行ったところ、蒸気復水設備に大量の蒸気が流れ込み、大気放出板が破損した。
7	江戸川	1号ごみクレーン	停止	R2.4.21	23:00	R2.4.22	1:03	R2.5.11	17:33	R2.5.31	14:00	1号ごみクレーン巻上ドラムの片方が脱落しかけていることを発見。軸受及びボルト破損のためクレーン使用停止。2号ごみクレーンも故障停止中につき、クレーン全機使用不可となり、2号焼却炉を立ち下げた。
6	江戸川	2号ごみクレーン	停止	R2.4.13	11:00					R2.4.22	13:30	2号ごみクレーン手動運転時、ケーブルリール用トルクモータの電流値が高いことに気づいた。現場確認したところモータの巻線の一部が焼損していたため、使用を停止した。
5	世田谷	2号炉	休炉	R2.4.12	20:00	R2.4.12	23:00	R2.4.16	23:50	R2.4.17	12:48	不燃物抜出装置の運転が不調となり、砂等排出が困難となった。運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
4	千歳	1号炉	休炉	R2.4.9	23:26	R2.4.10	1:15	R2.4.13	20:55	R2.4.14	16:55	右乾燥ストーカのケーシング温度上限が発報し、シリンダーロットブーツ周辺から煙も発生したため、運転継続は困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
3	葛飾	1・2号炉	休炉	R2.4.7	6:10	R2.4.7	6:23	R2.4.8	19:35	R2.4.9	10:44	計装用空気脱湿装置の故障により計装用空気圧力下下限が発報し、1号焼却炉・2号焼却炉がともに非常停止した。
2	江戸川	1号炉	休炉	R2.4.2	9:39	R2.4.6	11:40	R2.5.30	14:55	R2.6.1	11:10	減温塔入口ガス圧力が低下し、ボイラ伝熱管部(スクリーン管及び過熱器管)の閉塞が疑われるため焼却炉を停止した。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」令和2年度(4月1日～7月26日まで)

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				日	時	日	時	日	時	日	時	
1	世田谷	1号炉	休炉	R2.4.4	23:56	R2.4.5	18:00	R2.4.23	21:40	R2.4.24	11:06	汚水処理制御盤において故障が発生し、汚水処理の運転が不能となった。発生する汚水の処理が困難となったため、1号炉を立ち下げた。
82	墨田	1号炉	休炉	R2.3.31	13:30	R2.3.31	16:57	R2.4.1	13:30	R2.4.2	15:07	タービン主蒸気止弁の調整ねじから蒸気漏れが発生し、補修のため焼却炉を立ち下げた。
78	世田谷	1号ごみクレーン	停止	R2.3.18	13:56					R2.4.9	11:00	1号ごみクレーン巻上インバータのトリップが発生後、ごみバンク内において着床状態で停止し運転不能となった。
75	板橋	2号炉	休炉	R2.3.15	14:50	R2.3.15	16:30	R2.6.19	15:15	R2.6.20	9:26	2号炉ボイラ下ダストコンベヤを点検したところ、灰が湿っていることを確認した。調査の為、2号焼却炉を立ち下げた。